

除草剤
キレダー
ACN水和剤

令和2年8月12日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 作物名「花き類・観葉植物」を追加する。
- 作物名「樹木等」の薬量「2g/m²」を「2~4g/m²」へ変更する。
- 作物名「日本芝(こうらいしば)」及び「西洋芝(ベントグラス)」の希釈水量「200~300ℓ/10a」を「200~300ℓ/10a(200~300ml/m²)」へ変更する。

太字が追加部分、下線が変更部分です。(変更する作物のみ抜粋)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ACNを含む農薬の
				薬量	希釈水量			
日本芝 (こうらいしば)	—	藻類 コケ類	藻類・コケ類 の発生時	3~4kg/10a (3~4g/m ²)	<u>200~300ℓ/10a</u> <u>(200~300ml/m²)</u>	3回以内	散布	3回以内
西洋芝 (ベントグラス)		コケ類	冬期芝生育期 (コケ類の発生時)	2~4kg/10a (2~4g/m ²)				
花き類・ 観葉植物		コケ類	コケ類生育期	2~4kg/10a	100~300ℓ/10a			
樹木等	公園 庭園	イシクラゲ	イシクラゲ生育期	2~4g/m ²	200ml/m ²	3回以内	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に雑草 茎葉散布	3回以内
	駐車場 道路 運動場 宅地等	コケ類	コケ類生育期	<u>2~4g/m²</u>	100~1000ml/m ²			

<使用上の注意事項の変更>

【変更前】

(3) さつき、つつじにかかると薬害を生じる場合があるので、直接かからないように注意して散布すること。

<使用上の注意事項の追加>

(4) カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用后14日間は入水しないこと。

【変更後】

8. 使用上の注意事項

- (1) 本剤の所要量を所定量の水に加えてよく攪拌し、じょうろ又は噴霧器でコケ類、藻類に十分かかるように散布すること。
- (2) イシクラゲに使用する場合、雨上がりなどイシクラゲが水を含んで膨潤な時に使用すること。
- (3) つつじ類(鉢植え)、花き類・観葉植物に使用する場合は、作物にかかると薬害を生じる場合があるので、直接かからないように注意して散布すること。
- (4) カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用后14日間は入水しないこと。
- (5) 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木類等にかからないように散布すること。
- (6) 使用後のじょうろや噴霧器は十分水で洗っておくこと。
- (7) 調製した散布液はなるべく早く使用すること。
- (8) 公園、庭園等で使用する場合、特に以下のことに注意すること。
 - ① 激しい降雨の予想される場合は使用をさけること。
 - ② 本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分注意して散布すること。
 - ③ 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意すること。
 - ④ 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (9) 本剤は西洋芝に対して薬害を生じるおそれがあるので、高温時に使用しないこと。
- (10) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (11) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。